

入院診療計画書（肺癌分子標的薬 < ザーコリ >を受けられる方へ）

ID番号 @PATIENTID  
 5名（他に考える病名）

@PATIENTNAM ITWARD 病棟

@PATIENTRC 号室  
 症状：

担当医師 @USERNAME

印

担当看護師：

担当薬剤師：  
 @SYSDATE

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日 ～ 月 日	月 日	月 日以降	
経過	入院日	入院後1日目	2日目	3日目	4～6日目	7日目	8～9日	10日 ～12日目以降 退院	
目標	化学療法の内容や、副作用について理解 することができる。			副作用を理解 し、報告・対処 することができる。		治療薬の内容や 副作用を理解 し、自己管理で きる。	退院が近づいたら CT検査があります	退院後の自宅療養の注意点について理解 して退院できる。	
検査	血液検査、レントゲン検査 			血液検査 レントゲン検査		血液検査 レントゲン検査 	血液検査 レントゲン検査		
治療・処置									
観察	体温・脈拍・血圧測定 食事摂取量を確認します。皮膚・口の 中・便の状態を毎日観察します。	→							
注射									
内服	薬剤師と看護師が内服薬を確認します。 お薬手帳、または処方箋のコピーをお見 せ下さい。 	肺腫瘍に対する治療薬 の内服が始まります。 初めは看護師が1回毎 お渡しします。 内服時間 【朝夕食後1日2回】 	→				用法用量を確認 し、ご自分で お薬を管理して頂 きます。		退院後も継続して治療薬を内服します。 退院時に必要な分の薬をお渡しします。
食事	治療中の制限はありません。 食べやすいものを召し上がって下さい。希望 により食事内容の変更も可能です。	食事のあとは必ず歯を磨き、 1日1回は、お口の中の状態を鏡で見て観察 							
生活・行動	行動制限はありません。 身体の清潔を保つために毎日入浴しま しょう。食前のうがい・手洗い・手指の アルコール消毒を心がけましょう	皮膚障害の副作用予防のために、皮膚の保湿が大切にな ります。 入浴後は、全身に保湿剤を塗りましょう。洗顔後は、化 粧水と乳液で保湿しましょう。 毎日、皮膚の状態を観察して、体調管理ノートへ記録し 							
説明	看護師から入院生活や化学療法時の注意点や 副作用についての説明があります。 薬剤師からは、持参薬の確認と、治療薬の説 明があります。	こんな時は医師や看護師にお知らせ下さい！ ①口の中に、口内炎や粘膜の赤みなどができた ②顔や身体にニキビのような湿疹や赤み、乾燥、痒みが でてきた ③便秘・下痢になってきた 症状がひどくなる前に相談をしましょう。					看護師より退院後の 自宅療法での注意点 についての説明があ ります。可能であれ ば、ご家族の方も一 緒にお話を聞いて頂 くことをおすすめし ます。		

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：	続柄：
-----	-----